

特別展示「広島から世界へ～移住者の歴史と現在～」開催中！

2015.12.1 (レポーター 土井真由美)

広島県は、100年以上前から多くの海外移住者を送り出した、全国第1位の移民県です。どの国へ行ったのか、どのような暮らしをしたのか、その歴史を写真と資料で振り返り現在の在外広島県人会と広島県との交流や若い世代の活動についても紹介します。

開催期間
2015年10月5日(日)～12月26日(土)

開催場所
広島県立文書館展示室(広島県情報プラザ2階)

開館時間 9時～17時(土曜日は12時まで)

休館日 3日曜・祝日

主催 広島県
協力 3 県立行政法人 国際協力機構

入場無料

広島県立文書館
〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47
TEL:082-245-8444
メール:monjokan@pref.hiroshima.lg.jp
URL:http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/



広島県は、100年以上前から多くの海外移住者を輩出した全国第1位の移民県です。どの国に行ったのか、どのような暮らしをしたのか。移住者の歴史と現在について年代を7つに区分してご紹介します。

1 ハワイへの官約移民

1885 (明治 18) 年

広島県からハワイへの本格的な移民が始まる。

長い橋を渡って移民収容所に向かう日本移民
1893 (明治 26) 年



2 北米・南米・オセアニアへの移民

1890年代

アメリカへの移民の本格化。

1891 (明治 24) 年

日本で最初の移民会社、日本吉佐移民会社の設立。

1900年前後

ハワイからの転航を含め急増する。

3 二世の成長、

日本人社会の形成・郷土との交流

移住の流れが途絶えることなく継続した重要な要因は、「呼び寄せ」といわれる現象である。



呼び寄せ渡航の際に発行されたパスポート
(jica 海外移住資料館展示案内から)

沼隈町のパラグアイへの集団移住者出発。

神戸港を出発する沼隈町のパラグアイ移住者



4 戦争と移民

1931 (昭和 6) 年

満州事変が勃発。

5 第二次大戦後の移住

1952 (昭和 27) 年

対日講和条約が発効し海外移住再開。

1956 (昭和 31) 年

6 広島県と在外広島県人会とのつながり

移住者とその子孫を中心にハワイ、北米及び中南米の9か国に28の在外広島県人会が組織されている。

ホノルル広島県人会創立60周年、ペルー広島県人会創立60周年、ブラジル広島県人会創立60周年、パラグアイ広島県人会創立55周年。

2015 (平成 27) 年

7 世界が舞台 広島と国際協力

現代の若者たちも、海外の県人子弟も、新しい世代の活動は世界に広がっています。



キュメリック号船上の日本人移民
1907 (明治 40) 年

海外移住のために作成された資料
昭和40～42 (1965～67) 年



移民した人たちにとって一番深刻な問題は、日本がその国と戦争を始める事。敵性外国人として扱われ、大変苦勞したという事が知られています。写真や資料から感じとっていただけたらと思います。

また、ホノルル広島県人会創立60周年記念に際して、湯崎広島県知事が今年5月にハワイを訪問した時のスライド映像を放映しています。こちらをご覧ください。